

## 生涯学習部 部長マニフェスト

### 私の思い

#### 生涯学習部長 林 和彦

生涯学習部では、市民の誰もが生涯にわたって学ぶことができ、生きがいを持って地域で暮らしていけるまちづくりをめざします。

そのため、子どもから高齢者まで、ライフステージや市民ニーズに応じた多様な学習内容や学習環境を整えるとともに、学習の成果を地域で活かすことができるまちづくりを進めます。

また青少年の「生きる力」の育成のために、体験学習を中心とした各種講座を、民間活力を導入しながら充実してまいります。

本市は、長い年月をかけて育んできた貴重な歴史文化資産を豊富に有します。それらを有効に活用することで、市民が地域の誇りとして今後も守り伝えていく意識を持てるよう、文化財を守り、次世代へ継承する仕組みづくりにつとめます。そして、本市の豊かな自然環境を利用し、産学官連携のもと、スポーツイベントをオープン化することで、「市の魅力の発信」をおこない、スポーツによるまちの活性化を目指してまいりたいと考えております。



### 重点目標

- ① 生涯学習の充実と青少年の健全育成の推進
- ② スポーツによるまちの活性化
- ③ 市民の文化活動への支援
- ④ 特色ある図書館運営による地域文化の活性化
- ⑤ 文化財の保存と活用

## 部の施策概要

- ① 本市の地域特性である自然環境を活かして、自然体験学習を中心としたプログラムを提供します。
- ② 地域ぐるみで子どもを育てる環境を構築するため、青少年育成関係団体の活動を支援し、指導者の育成に努めます。
- ③ 社会教育団体を支援し、生涯学習の成果を地域に還元できる環境をつくります。
- ④ 体験学習を中心とした青少年講座の充実に努めます。
- ⑤ 既存のスポーツ行事を充実するとともに、気軽に誰もが自由に参加できるイベントを開催します。
- ⑥ より多くの市民が、気軽にスポーツに親しみ、利用しやすい環境づくりに努めます。
- ⑦ 公民館を、地域における教育力の活性化の拠点として位置づけ、市民の文化活動を支援します。
- ⑧ 図書館の図書の出し、閲覧を通じて、情報や学習機会の提供を充実します。
- ⑨ 文化財の保存や活用を促進し、市民が地域における文化財の価値を理解し継承できるよう情報提供を行います。

## 生涯学習の充実と青少年の健全育成の推進

### 戦略課題の目標

子どもから高齢者まで、ライフステージや市民ニーズに応じた多様な学習内容や学習環境を整備します。また、学校、家庭、地域との連携による健全育成の環境づくりに取り組みます。

### 施策推進上の目標

- ① 市民に様々な生涯学習事業に関する情報を提供するため「生涯学習ニュース」を発行します。
- ② 少子化、核家族化及び地域の人間関係の希薄化等により家庭の教育力の低下が指摘される中、家庭教育を支援する環境を整備し、家庭の教育力向上を図るために「親と子のための教室」・「親学習講座」を開催します。
- ③ 青少年指導員活動の円滑化に努めるとともに、各小・中学校区の青少年健全育成会が行う事業の支援を行います。青少年健全育成会が主体となって開催する「通学合宿」を支援します。
- ④ 青少年の感性や社会性を育成するため、学校の授業等で体験できない自然体験や観察など体験型の青少年講座を開設します。
- ⑤ 各小学校区において、1年生から6年生までの全児童を対象に放課後や土曜日に安全・安心に過ごせる居場所づくりとして放課後子ども教室（のびのびルーム）を実施し、遊びや地域の人々との交流を通じて自主性や協調性を育みます。就労等により保護者が昼間家庭に居ない小学校1年生から3年生の児童に対して遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るため市内全小学校で放課後児童会を開設します。
- ⑥ 「こども110番の家」「子どもの安全見守り隊」「学校安全モニター員」など安全確保のための活動を支援します。
- ⑦ 市民文化会館事業は指定管理者とともに市民参加型の文化振興につながる企画をおこないます。

## アウトプット

- ① 「生涯学習ニュース」を年2回(5月10月)発行、各3,500部。市民への周知がより徹底できるよう、区長会に依頼し回覧板での周知への協力を依頼します。
- ② 「親と子のための教室」の対象に2歳児とその保護者を追加します。
- ③ 堅上小中学校青少年健全育成会が主催する「通学合宿」を支援します。
- ④ 青少年講座の参加者を募集定員の80%を目標とします。
- ⑤ 放課後子ども教室(のびのびルーム)参加者7,500名を目標とします(24年度5,343名)。25年10月1日から放課後児童会の開会時間を18時30分まで延長できるようにします。
- ⑥ 「子どもの安全見守り隊」「学校安全モニター員」等、地域で子どもを育てる環境を醸成します。
- ⑦ 市民の文化芸術活動を奨励する事業を推進。大和川ミニミニ水族館など空きスペースを活用した事業を指定管理者とともに進めます。

## アウトカム

- ① 「生涯学習ニュース」を区長会の協力で回覧板での周知ができ、より市民の生涯学習活動の支援ができるようにします。
- ② 放課後児童会の開会時間を18時30分まで延長できるようにすることにより、児童が放課後を安心・安全に過ごせる場を拡充します。

## スポーツによるまちの活性化

### 戦略課題の目標

- ① 市民の誰もが参加できるスポーツイベントを開催します。
- ② 柏原市をアピールするスポーツイベントの開催を目指します。

### 施策推進上の目標

- ① 「第1回スポーツフェスティバル in 柏原」の開催し、スポーツを通じてすべての市民が心身共に健康で豊かな生活を営み、ライフステージに応じたスポーツ活動ができる環境を整備します。
- ② 「柏原シティーキャンパスマラソン」の開催し、既存のスポーツイベントを見直し、広域的な参加を求めスポーツイベントによる「市の発信」を行ない市の活性化につなげます。

### アウトプット

- ① 第1回スポーツフェスティバル in 柏原の参加者 1,000名（延 5,000名）
- ② 柏原シティーキャンパスマラソンの参加者 1,000名

### アウトカム

- ① スポーツフェスティバル in 柏原の参加者にアンケート調査を実施し、次回も参加を希望すると回答した人の割合が50%以上
- ② 柏原シティーキャンパスマラソンの参加者にアンケート調査を実施し、次回も参加を希望すると回答した人の割合が50%以上

## 市民の文化活動への支援

### 戦略課題の目標

市民の文化に対する意識の高揚に努め、学習により習得した知識や技術を地域に還元できる地域社会を目指します。

### 施策推進上の目標

公民館講座については、より一層内容を改善するとともに、市民文化祭については、より多くの市民の方々が参加できる文化祭を目指します。

### アウトプット

「公民館講座」については、幅広いジャンルの企画に取り組み、市民ニーズに合った講座の開催を行っていきます。また、市民文化祭は、一昨年からの短期集中による開催実績を踏まえ、参加者の増加傾向にありますが、更に多くの市民が参加できる文化祭になるよう創意工夫します。

### アウトカム

公民館講座受講者数を前年度実績（566人）を上回る600人超えを目指します。さらに、市民文化祭の参加者数を前年度実績（17,244人）を上回る18,000人超えを目指します。

## 特色ある図書館運営による地域文化の活性化

### 戦略課題の目標

図書館を拠点として、読書を通じた知育を目的とした児童サービス及び生涯学習支援としての高齢者向けサービスの充実に努めます。また、郷土資料や地域情報の充実に図り、柏原市のPRをおこないます。

### 施策推進上の目標

- ① 読書を通して、楽しみながら学習習慣・知的好奇心の育成ができるような幼児・児童向け行事を企画し、教育機関や家庭に各種メディアを通じて広報することにより、数多くの幼児・児童・保護者の行事への参加と児童サービスの充実に図ります。
- ② 生涯学習の場として、高齢者がより快適に利用できるための図書館案内パンフレットの作成、大活字本や録音図書を充実させ、より多くの高齢者への図書館利用の促進に努めます。
- ③ 柏原をPRするため、市の地場産業や施設案内が詳しくわかるパンフレットの作成、市に関する歴史文献等の郷土資料を積極的に収集し、その資料を閲覧できる柏原市の情報コーナーを設置します。将来的にはPCや携帯端末から閲覧できるデジタルアーカイブを創設しより広域に情報発信し、地域経済の発展を目指します。

### アウトプット

平成24年度の総貸出冊数は、431,475冊であり、市民1人あたりの貸出冊数は5.93冊であります。今年度は貸出冊数を450,000冊及び市民1人あたりの貸出冊数は6.25冊を目指します。

### アウトカム

幼児から高齢者にいたるあらゆる市民に充実した図書館サービスを提供することにより、市民が知的・文化的に潤いのある生活を営むことができるようになります。

## 文化財の保存と活用

### 戦略課題の目標

文化財が大切に守られ、次世代に継承されているまちの実現を目指します。

### 施策推進上の目標

- ① 史跡鳥坂寺跡の保存と活用について、専門の研究者による整備検討委員会を中心に引き続き検討を進めるとともに府や国（文化庁）と協議します。
- ② 史跡高井田横穴公園内の公開古墳・高井田山古墳のマルチシェルター（覆い屋）の亚克力板が劣化し透明度が低下しているところから、これを交換するなどの改修を実施します。
- ③ 歴史資料館の企画展を例年どおり、年 4 回開催します。

### アウトプット

- ① 鳥坂寺跡整備基本計画（案）を策定し、市長及び教育委員会に提言します。府及び国（文化庁）とも協議しながら、史跡鳥坂寺跡整備に向けての具体的整備方針、基本計画を確定します。
- ② 高井田山古墳を保存しながら、見学に供する等、活用を図ります。
- ③ 企画展の開催を通じて、市民の一般の知的欲求に応じ生涯学習の機会を提供するとともに郷土柏原を内外にPRします。

### アウトカム

- ① 史跡鳥坂寺跡の保存と活用（最終目標は、史跡公園整備）の推進します。
- ② 高井田山古墳の保存・活用と史跡高井田横穴公園の有効活用の推進します。また、全国的に誇ることのできる史跡公園を内外にPRし、市民の郷土への愛着を一層高めます。
- ③ 生涯学習（文化財・郷土史等関連）の推進。歴史資料館の入館者数（年間約 2 万人）、企画展開催回数（年間 4 回）等、近隣類似施設に比較して、トップレベルを維持します。